

としまっ子の学び Vol.1

めあて/課題の設定

まとめと振り返りの実施

教師主導型からの脱却



<1単位時間の授業の流れ>

教師主導型からの脱却 ～子ども主体の授業～

めあて/課題

見通し

自力解決

学び合い

まとめ

振り返り

めあて/課題の設定 ～身に付けさせたい力を明確にした授業～

めあて/課題

- めあて/課題を意識させる。
- 子どもから引き出す。
- 子どもの言葉から設定する。
- めあて/課題が自分事となるようにさせる。

そのために
→

子どもの関心を高めたり、
必要感をもたせたりする
ような導入を行う。

めあて	本時において何ができるようにしたらよいのかをはっきりさせるもの
課題	課題解決型の授業(主に算数・数学、理科、社会)で、本時において解決すべきもの

まとめと振り返りの実施

～何が身に付いたのかが分かる授業～

まとめ

- 子どもの言葉でまとめる。
- 黒板に記した子どもの考えやキーワードから、まとめにつなげる。
- めあて/課題とまとめは、文の書き出しを同一にすると、正対していることがわかりやすい。

振り返り

- 振り返りは授業の感想ではない
- 振り返りの視点をもつ。
 - 本時のねらいに応じて、視点は子どもに選ばせたり、教師が指定したりする。
 - 振り返りの内容をもとに、次時への意欲付けを行う。

見通し

- 既習事項を確認する。
- 解決の方法のヒントを与える。

自力解決

- 十分な時間を確保する。
- 全員に自分の考えをもたせられるようにする。



<学習隊形:前向き(集中する時)>



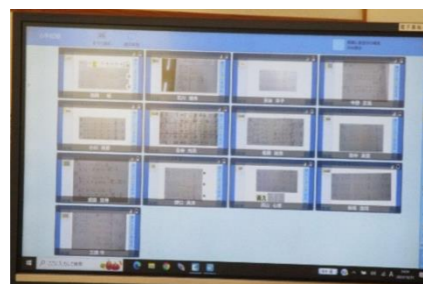
板書の仕方

- 1単位時間の学習の流れが分かるように記す。
- 子どもの考えや本時の学習のキーワードを記す。
- めあて/課題とまとめを横並びにし、正対していることを視覚的に分かりやすく記す。

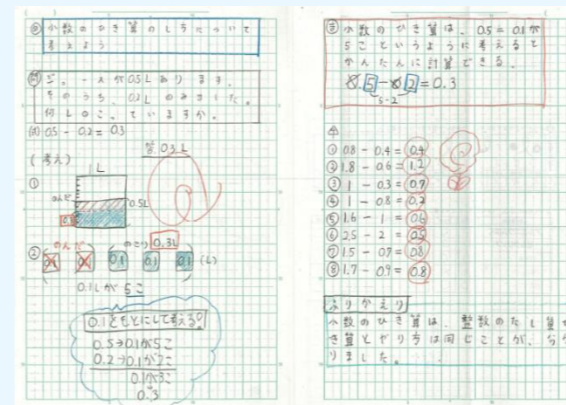
学び合い



<学習隊形:コの字型(話し合いの時)>



- 子どもの発言の復唱や説明をしない。
- 発言者以外の子どもに説明・補足させる。
- 子どもの発言をつなぐ。
- 教師がエラーモデルとなり、考えを深めさせる。
- ICTを活用し、互いの考えを視覚的に示す。



ノート の 使い方

- 見開きで使用する。
- めあて/課題とまとめが横並びになるようにする。

